



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	唐渡興宣教授研究業績（唐渡興宣教授記念号）
Citation	経済学研究, 56(2), iii-iv
Issue Date	2006-11-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/16963
Type	other
File Information	ES_56(2)_iii.pdf



唐渡興宜教授 研究業績

著 書

1. 『世界市場恐慌論』 新評論社 342頁 1979年6月。
2. 『資本の力と国家の理論』 青木書店 272頁 1980年10月。
3. 『政治経済学の冒険——現象学的マルクス主義へのプレリユード——』(北海道大学経済学・経営学研究叢書2) 北海道大学経済学部 244頁 1996年3月。

論 文

4. 「諸資本の競争と投資行動」『一橋研究』20号, 1970年12月。
5. 「金本位制度と価格機構」『一橋研究』25号, 1973年7月。
6. 「現代資本主義の危機の評価(海外経済論調)」『経済評論』23, 日本評論社, 1974年8月。
7. 「好況局面の基本的構造——価格分析的景気循環論序説——」『一橋論叢』72, 1974年9月。
8. 「国民経済と生産の国際的關係」『一橋論叢』73, 1975年5月。
9. 「生産と消費の矛盾と資本蓄積——富塚良三氏の「均衡蓄積軌道」をめぐって——」『経済学研究』(北海道大学) 26, 1976年3月。
10. 「資本蓄積と信用」『経済学研究』(北海道大学) 26, 1976年6月。
11. 「世界市場における競争と価値法則」『経済学研究』(北海道大学) 26, 1976年11月。
12. 「「超過利潤」に関する覚え書」『経済学研究』(北海道大学) 27, 1977年5月。
13. 「資本蓄積と信用(続)——その対外的側面の考察」『経済学研究』(北海道大学) 27, 1977年8月。
14. 「「資本」概念の省察」『経済学研究』(北海道大学) 28, 1978年3月。
15. 「恐慌の抽象的可能性——商品に内在する諸矛盾とその実現する運動形態——」『経済学研究』(北海道大学) 29, 1979年3月。
16. 「価値と生産価格」『経済学研究』(北海道大学) 29, 1979年8月。
17. 「世界経済の不況過程と南北問題(上)(現代の景気循環とスタグフレーション 研究報告1)」『世界経済評論』24, 1980年5月。
18. 「マルクス『資本論』」『経済』193, 新日本出版社, 1980年5月。
19. 「《所有》とは、本来いかなるものであったか?」『経済学研究』(北海道大学) 30, 1981年3月。
20. 「私的所有の世界」『経済学研究』(北海道大学) 31, 1981年11月。
21. 「社会の危機」『経済学研究』(北海道大学) 32, 1982年6月。
22. 「政治と経済におけるマルクスの新しい歴史観——政治経済学序説——」『経済学研究』(北海道大学) 32, 1983年3月。
23. 「恐慌論批判——資本の流過程と恐慌の発展した可能性——」『経済学研究』(北海道大学) 33, 1983年12月。
24. 「歴史主義と政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 34, 1984年6月。
25. "Power and Its Structure," *Hokudai Economic Paper*, 13, 1984. 7.
26. 「歴史主義と政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 34, 1984年9月。
27. 「法則の内的諸矛盾の展開」(種瀬 茂他と共著) 種瀬 茂編『資本論の研究』 青木書店, 1986年2月。
28. 「実践の哲学——現象学的マルクス主義への序——」『経済学研究』(北海道大学) 40, 1990年12月。

29. 「日本資本主義と労働運動——労働者世界の構築をめざして——」 北海道労災職業病対策連絡協議会編 『職業病とたたかう力』 労働経済社, 1993年4月。
30. 「市場的社会関係と合理化過程」 『経済学研究』(北海道大学) 44, 1995年3月。
31. 「市場的社会関係と合理化過程」 『経済学研究』(北海道大学) 45, 1995年5月。
32. 「市場的社会関係と合理化過程」 『経済学研究』(北海道大学) 45, 1995年11月。
33. 「今日の不況とブルジョア社会の国家形態での総括」 『季刊 経済と社会』 5号, 1996年5月。
34. 「組織された資本主義の脱組織化」 『経済理論学会年報』 34集, 1997年10月。
35. 「市場 合理性計画 合理性」 『経済理論学会年報』 35集, 1998年10月。
36. 「日本経済と教育——経済構造の変動と日本の教育問題——」 栃内香次・木村 純編著 『21世紀の教育像——日本の未来へ向けて——』 北海道大学図書刊行会, 2001年3月。
37. 「私的所有権の存立構造」 『経済学研究』(北海道大学) 53, 2003年6月。
38. 「所有論の基本的視座——所有とは領有(=取得)の過程における社会的関係である——」 『経済学研究』(北海道大学) 53, 2003年12月。
39. 「マルクス所有論の基本構成——所有とは領有(=取得)の過程における社会的関係である——」 『研究彙報』(東京大学東洋文化研究所) 10, 2005年9月。
40. 「資本主義の新しい段階」 『政経研究』 86号, 政治経済研究所, 2006年5月。

書評・その他

41. 「有田辰男著『過剰資本論序説』」 『世界経済評論』 22, 1978年2月。
42. 「久留間鮫造編『マルクス経済学レキシコン 11, 貨幣 1』第11期の刊行によせて」 『週刊読書人』 1979年12月3日号。
43. 「宮下征治著『日本帝国主義の現局面 経済学批判 (下)』」 『札幌学院評論』 創刊号, 1984年4月。
44. 「経済学部と図書室——学生の知的体力の低下を嘆く——」 『図書館雑誌』 85, 1991年2月。